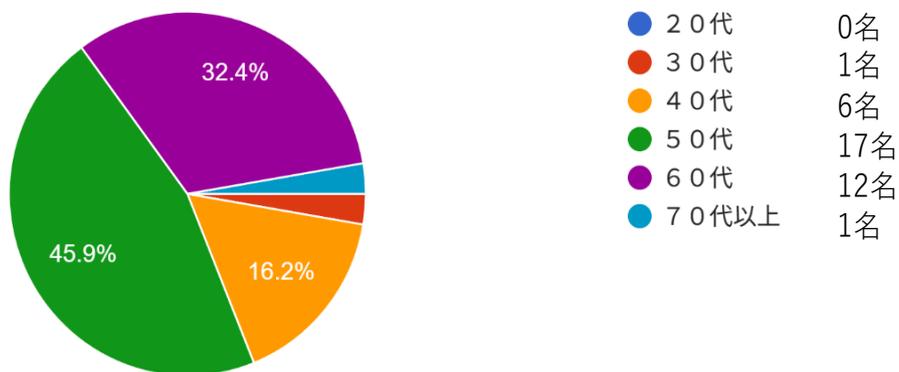


～送迎いらずの体に優しい腹膜透析とは～

(参加者:60名 アンケート回答者:37名 回答率:61%)

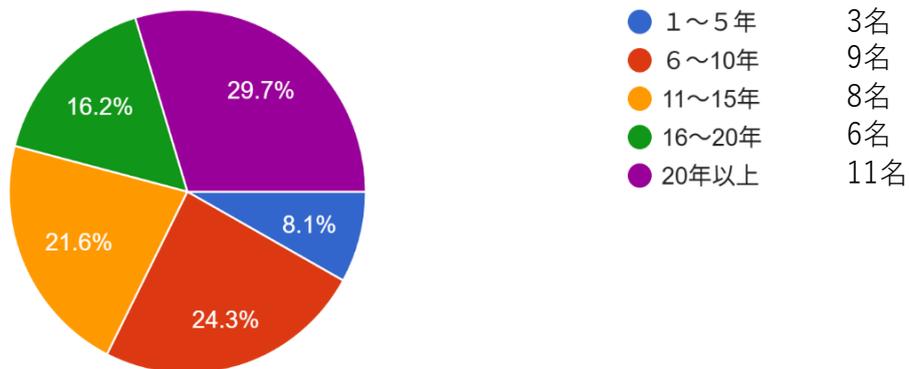
年齢

37件の回答



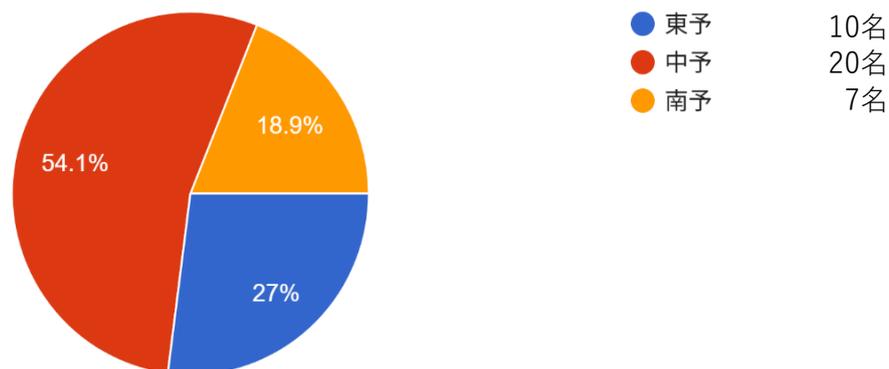
介護支援専門員としての経験年数

37件の回答



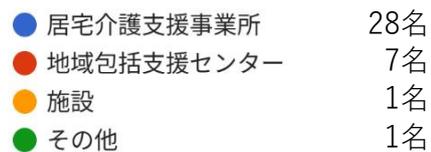
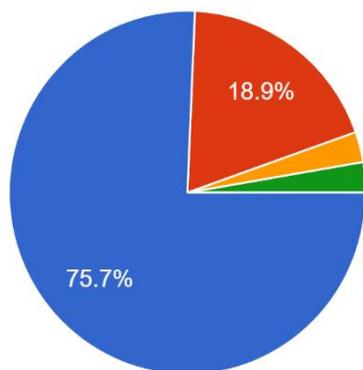
地域

37件の回答



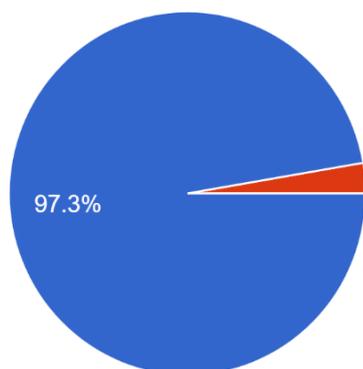
事業所

37件の回答



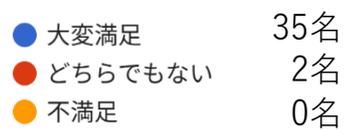
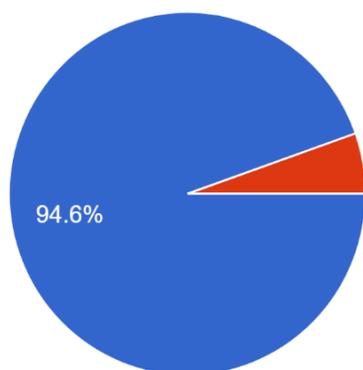
愛媛県介護支援専門員協会への入会の有無

37件の回答



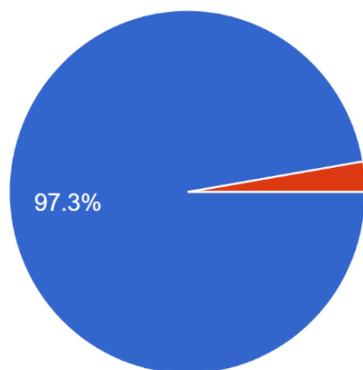
今回の研修の感想をお聞かせください

37件の回答



今回の研修を経て、今後の実務に役立てそうですか？

37件の回答



回答	人数
役に立つそう	36名
どちらでもない	1名
役に立たない	0名

上記と答えた理由を教えてください (36件の回答)

- ・血液透析をする人が多くなり、終末期に行き場がなくて困っている人が多いため
- ・腹膜透析の事を詳しく知ることができました。慢性腎臓病に対する注意点も知る事ができました。
- ・腹膜透析での実際に目で見て取り付けを体験してもらいました。現在は愛媛で一人の利用だが「おうち透析」がよりしやすくなれば透析患者の身体精神の負担が軽減すると感じた。腎臓は静かに悪くなるので検診等で早く予防していくことが大切だと思った。
- ・対象者の選択肢が増える
- ・腹膜透析について理解を深められたから
- ・新しい知識が得られました。
- ・腹膜透析について、実際に経験できたのでメリットデメリットがわかりやすかった。
- ・慢性腎臓病、透析になるのを防ぐため、生活習慣をみなおしたり、高血圧、糖尿病の治療をきちんとすること、その為に、ケアマネとしての役割が学べた。上村Drが、具体的に、ケアプランの提案もあり、とても分かりやすく、良かった。
- ・腹膜透析の理解が深まった。また、慢性腎不全の予防の視点が広まった。
- ・透析の知識を深めることができた。実際に利用者に勧めることは難しい（医療のことなので）が、プランを考える際に気を付けるべき点があったのでその部分は役立てそうだと思う。
- ・以前透析利用している利用者さんがいた。
- ・6月下旬に、腎移植をされる方が、いらっしゃるので、今回学んだ事を、参考にしたいです。
- ・上村先生の計画書の説明
- ・糖尿病の患者や予備群の患者を多く担当しているため。
- ・透析の瀬戸際という利用者さんは一定数いるので、今回の研修は知識として役立てると思います。
- ・透析ストレスの利用者さんがいて、選択肢が増えた
- ・腹膜透析のメリットとデメリットの理解ができた事や実技があり、イメージしやすかった。
- ・腹膜透析のことを詳しく説明してもらえたからです。
- ・腹膜透析についてメリットやデメリット含め、具体的に医師からの話が聞けて深い学びとなった。医師の視点でのケアプランも大変参考になった。
- ・透析の方と何人か関わらせて頂くなかで、家族への情報提供として勉強させて頂きました。ケアプランの中に、定期通院や服薬管理、体調管理を入れてもケアマネだけでは把握できてないことが多いことを反省しました。
- ・とても良い先生だと思いました。声もテンポも良く、話の内容がとても理解しやすかったです。ケアプラン作成にも役立てられると思います。
- ・知識がなかったので、非常にありがたい。
- ・3表が活用しきれていないことに、自己反省出来た事。
- ・具体的な講義を受けれたから。
- ・腹膜透析の利用者様にお会いする機会が無い為 今のところは役に立つのか？といったところです。
- ・慢性腎臓病の利用者のケアプランについて、実際に活用してみようと思えたからです
- ・腹膜透析について理解する事ができ、利用者さんに対して提案する事が出来ると思った。
- ・選択肢を提案の一つになる
- ・血液透析中の利用者さんを4名担当しており、その内の1名から、腹膜透析に変更して在宅看取りをしたいとの相談を受けていた為、知識として知ることが出来た、
- ・透析とは何か具体的に知ることができたからです。

- ・ 腹膜透析がどのようなものか理解出来た
- ・ CKDにおけるケアマネの役割、ケアプラン作成時のアドバイス等が勉強になった
- ・ 腹膜透析の事を詳しく学ぶことができ、良かった。
- ・ 担当利用者に、透析導入になりそうな方が居られるため、今後の支援に役立つ内容でした。
- ・ お家透析の提案もできそう。
- ・ 透析の選択肢が増え、知識も深める事ができました。

今回の研修で気づいたことを教えてください (28 件の回答)

- ・ 自宅で生活しやすい方法なので、選択肢が増えてよかった。ただ、今まででお一人しか出会わなかったのも、やはり何か敬遠される理由が、当人、医療者にあるのかと気になった。
- ・ ケアマネとしての気づきと観察力の大切さ
- ・ 医療の事はこういう研修でより身近になると気づいた。
- ・ 実際に疑似体験が出来たのは良かったです。
- ・ 腹膜透析、血液透析があり、メリット、デメリットがある。何処で、どう最期を迎えるかに、直結する。
- ・ その人に合わせた透析の方法が選択できるということが分かり相談の幅が広まった。
- ・ 実際に体験すると、より深く関心や知識を持てる。
- ・ 今まで通院をしなければいけないと思っていたが、お家の選択肢があることに驚いた。
- ・ 医療連携の大切さ、各機関との連携が大切だと感じた。
- ・ 具体的なプランへの落とし込みが、理解できた。
- ・ 医療は色々進化してる。
- ・ 医療知識が増える事で、確実にケアマネの質は向上する。現実にはそこまで意識の高いケアマネは少ない。医師と対等に話ができ、連携の取れるケアマネが増えて欲しい。専門職としての矜持を持っていかねばと強く思った。
- ・ 利用者本人の希望に寄り添って、治療の選択肢と一緒に検討していく事や病状が悪化しないようにケアプランを作る事。
- ・ 腹膜透析のデモは、実際の手技を体験できてよかったです。
- ・ 血液透析より、複合的に腹膜透析はメリットが多い事が気づきになった。
- ・ 腎不全患者の担当ケアマネとして、日々の血圧や体重測定、薬管理を主治医、訪問看護、など医療と介護で支えていくこと。主治医とコミュニケーションをとっていくことを振り返り学びました。
- ・ 医療面をもっと意識しながら関わることが大切と気づきました、実務に活かせそうです。
- ・ 私もckdのリスクが高いです。早めに対処しないとやばいです。こういう気づきに医療研修は重要です。
- ・ 医療機関の地域差
- ・ 腹膜透析の仕組みをなんとなく頭にあったが今回の研修でどういった物なのかわかった。
- ・ 医療の新しい知識を習得することで利用者の在宅生活がより安心して送れるようになることを学びました。また医療と連携をするためにも、このような研修に参加して、知識を深めておくことが大切だと気づきました。
- ・ 腹膜透析は難しいと思っていたが、実は高齢者こそ導入すべき治療だと気づいた。 おうち透析、優しい言葉だと思いました。
- ・ 腹膜透析について、分かりやすく説明していただいて良かったです。また、ケアマネが医師とコミュニケーションを積極的に取ることが重要と改めて感じました。
- ・ 透析にも選択肢があることで、QOLの維持や向上が期待できる
- ・ 一人暮らしの方にはなかなか手技など困難である。
- ・ 腹膜透析について、感染のリスク、手技の難しさがあり、導入は難しいと思っておりました。少し、考え方は柔軟になりました。
- ・ お家透析のメリットが多いこと
- ・ 透析は、病院と考えていましたが、手技が理解できれば、自宅もありかなと感じました。

腎不全患者のマネジメントを行うにあたり、ケアマネとして、困っていることは何ですか。また、あると便利な仕組みがあればお聞かせください。 (25 件の回答)

- ・ 本人や家族が自分の判断で食事管理などを行い、他者の言葉を聞かない。講義では透析時の送迎の話が出たが、当市では不足しており利用者の大きな負担になっている。
- ・ 今はないです。
- ・ 指標。
- ・ 食事と服薬 特に食事です
- ・ 水分制限や食事制限など。

- ・ 特になし
- ・ 10年以上透析をしていた実母の話です。亡くなる直前の透析が辛そうで、“もう透析はせんでも良い”とまで言っていました。止める選択肢がどこにあるのか、止めれば死に直結するので、家族としても辛かったです。もしケアマネとして相談されたら、返答に窮すると思いました。医師からそんな説明やケアマネの事例があれば良いと思います
- ・ 配食の治療食は、金額が高く、支払いができない高齢者が多い。食事制限がなかなか守れず、困っている。
- ・ 病院で透析をする際の送迎手段に困ることがあります。
- ・ 今回、腹膜透析のイメージがテルモさんのご協力もあり伝わってきた。関係機関との円滑なICT活用。
- ・ 田舎では介護タクシーの手配です。
- ・ 本日紹介があったアプリを使っての病院との連携機能を導入できるように、医師会にも知ってもらい、愛媛県として推奨していただければ、医療も介護もスムーズに連携が取れるのではないかと考えました。
- ・ 食事管理が難しい。配食サービスを利用すると、経済的な負担が大きくなり続かない。公的な配食サービスは、訪問・通所サービス利用日に利用出来ない。医師の指示等で制限なく公的配食サービスが利用出来る様な制度があれば良いと思う
- ・ 腎不全患者と関わったことがほとんどないため、知識不足は否めないことです。業務以外でも関わる機会があればいいと思いました。
- ・ 決められた通りに透析に行かない
- ・ 透析施行にあたり、突然、透析時間外に通院を指示させることがあります。介護タクシーの手配が難しい場合があり、病院送迎があるところは、とても助かっています。
- ・ 透析を継続できる施設が少ない。
- ・ 服薬や、食事療法が在宅の場合うまく運べない事がよくあります。

要介護・要支援者の診療の質を向上させるために、何が最も不足していると思われますか。（24件の回答）

- ・ 病気に対する理解力と将来的な事に対してのイメージが持てない事
- ・ 情報が少ない。受け入れが少ない。
- ・ 腹膜透析の認知度
- ・ 本人や家族への情報共有や理解力
- ・ 通院に、同行してくれる事業所がもっとあれば、いいのと思う。
- ・ なんでも相談できる訪問診療体制
- ・ 医師との情報共有のツール。ケアマネタイムなどがあれば助かります。
- ・ 医者不足。
- ・ 時間
- ・ 検診の必要性の理解。
- ・ 配慮
- ・ ケアマネ側の医療知識の向上
- ・ 医師との連携。
- ・ 医師不足ではないでしょうか。
- ・ 支援者の医療的知識
- ・ 今日の先生のような、素晴らしい先生が不足している。
- ・ 医師によってはただ薬を出すだけで、薬が飲めているのかも評価しない。
- ・ 医療機関、特に医師の患者への熱意
- ・ 日頃の状態を把握している人が、診察に同席出来ていない
- ・ 松山市内に在住でしたら、専門機関を受診する機会があると思いますが、過疎地域は難しいため、地域格差を感じます。過疎地域のサポートが不足していると感じます。
- ・ 診察に『行く』から『来てくれる』と言う選択肢がほぼ無い
- ・ 診療の待ち時間の軽減、通院間隔を安定している方は延ばせるような主治医の意識。
- ・ 治療方針や医師の説明を本人やサービス事業所に理解してもらうための支援(診察に同行したヘルパーもあまり理解できず、在宅サービス担当者が詳細を共有する事が難しい事がある)
- ・ 医療の知識だけでなく、その方の生きる力となる一番したい事や価値観を皆で把握する。透析にならない為の専門職からの具体的なアドバイスや目標、食事に関する知識不足。

今後、どんな研修テーマを希望しますか。 また、興味・関心がある分野について教えてください (15 件の回答)

- ・ ヤングケアラーや8050問題
- ・ 災害や緊急時の件で独居で誰もいない人への対策。・ ACPの取り組みで本人や家族への相談の仕方話し方など事例を含め教えてほしい。
- ・ 事務作業が効率よくできるICTの活用方法について。会議録の作成など
- ・ 成果が上がった支援内容。
- ・ 医師との連携。
- ・ 特になし
- ・ グラフィックファシリテーション
- ・ 精神疾患等の支援、重層的な支援の絡むケアマネジメント
- ・ 肝臓の研修もして欲しい。多いので。
- ・ 栄養関係
- ・ 緩和ケア・精神疾患・災害支援・経済的弱者（生活保護対象にならない）の支援・
- ・ 各地域での地域資源を生かした取り組みを知りたいです。
- ・ 重層的支援体制整備について
- ・ 今回のような、病気ごとの医療との連携
- ・ 生活習慣病の予防。自宅で行える運動療法と正しい知識。誤嚥性肺炎予防や、痰吸引にならない為の知識。

その他（県協会へのご意見・ご希望など） (14 件の回答)

- ・ 特になし
- ・ 今の所はありません
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ オンライン研修を充実させてほしい。時間を超過しないでほしい。県内事業所のICT/DX化を主導して貰いたい。
- ・ いつもありがとうございます。役員さんは大変だと思いますが、非常に勉強になります。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ 大変遅くなり、すみませんでした。
- ・ 研修の企画ありがとうございます。
- ・ 最近、医療関係の研修ばかりと思っていましたが、今回ケアプランにまで踏み込んだ内容でとてもありがたかったです。ケアマネを取り巻く環境が今後大きく変わりそうな時代です。愛媛のケアマネが時代に取り残されないような研修をお願いします。
- ・ 今年度も研修の企画、ありがとうございます。
- ・ いつもお疲れ様です
- ・ 特にありません。本日はありがとうございました。
- ・ 今回の様に特定の治療や疾患の知識を深める研修は、とても良かったと思います。ありがとうございます。
- ・ いつも学びになる研修をありがとうございます